

子どもたちの笑顔を守る地域之力

市内の児童生徒に関わる不審者情報は、ここ数年増加傾向にあります(別表)。今年に入り、1月だけですでに6件の情報がありました。

学校教育課では、子どもたちの安全を守るための取り組みを実施しています。

〈子どもたちを守るために〉

スクールガード・リーダーの派遣／市内小学校15校の校内巡視および下校時の巡回を週3回実施しています。

警察・学校・保護司会合同防犯パトロールの実施／春・夏・冬休みなどに市内を巡回しています。

市内で発生した不審者情報の配信／子どもに対する声掛け、露出、追い掛け、不審電話など、犯罪や犯罪に発展する恐れがあるものを、市ホームページに掲載するとともに、携帯電話へのメール配信サービスを行っています。不審者などからの犯罪を阻止するには、地域ぐるみの防犯活動や防犯意識の高さが、大きな力になります。

子ども110番の家の設置／地域住民・店舗などの協力で、現在市内654軒が登録しています。子どもたちが不審者に遭遇した際の、緊急避難場所として重要な役割を果たしています。

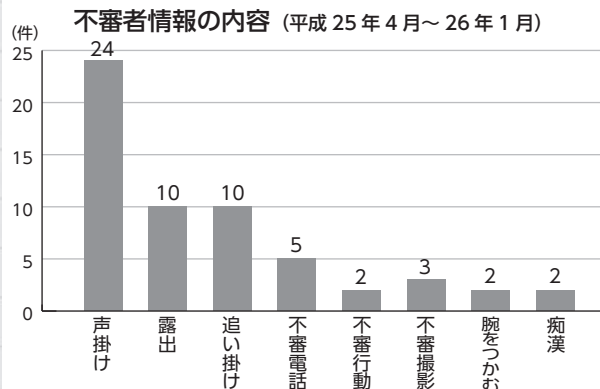
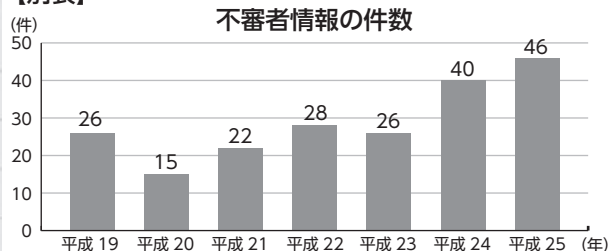
〈地域の子どもは地域で守ろう〉

子ども110番の家の登録／学校教育課または各小学校で受け付けています。

不審者情報メールの登録／受信する携帯電話から専用URL(<http://www.city.asahi.lg.jp/fushin/m/>)にアクセスし、登録してください。

※くわしい内容は、学校教育課指導班(☎55-5726)に問い合わせてください。

【別表】



義務教育費用に困っているときは

市内の小中学校に通っている子どもたちが、経済的な理由により就学が困難な場合、保護者に学用品費や学校給食費などの一部を就学援助費として支給しています。

対象／●生活保護を受けている家庭 ●生活保護を受けていないがそれに準ずる程度に生活が困窮している家庭 ※市内に住所を有すること。

申し込み方法／旭市要保護および準要保護児童生徒就学援助費支給申請書と関係書類を提出してください。

※くわしい内容は、在学する小中学校または学校教育課学務班(☎55-5724)に問い合わせてください。

教 育 委 員 コ ラ ム



はるつげ さ
春告草

教育委員会委員長
伊藤 啓子

学校近くの土手に、春告草のオオイヌノフグリが群生していました。立春を過ぎたころ見つかる最初の一輪には、毎年感動をいただきます。子どものころから大好きだったコバルトブルーのこのかれんな小花。当時はまだその名も知らず、春の訪れを待ちわびていた子どもにとっては、言いようのない開放感を与えてくれる、自然からの贈り物だったように記憶しています。

万葉歌人志貴皇子の名高い歌に「石ばしる垂水の上の

さわらび 早蕨のもえいづる春になりけるかも」という憧れの歌があります。万葉人にとっての春は、それはそれは待ち遠しいものだったことでしょう。春を迎えた喜びが一気にほとばしるようなこの歌の「滝のほとりにワラビももえ出て、ああ春が来たんだなあ」という思いが「あぜ道にオオイヌノフグリが咲きだして、ああ旭にも春が来たんだなあ」との思いと重なり、心から春を迎える喜びを感じることができるのです。

この春も、617名の子どもたちが中学校を巣立ちました。5年後の成人式での再会を誓って、それぞれの夢に向かって新しい道を歩み始めました。春告草を見つけた喜びは、長く厳しい冬を越えたからこそ感じ得るもの。どうか子どもたちには、少し高い自分の目標を定め、クリアとステップアップを繰り返しながら困難に負けることなく、自分の「春告草」に出会ってほしいと願います。併せて「オオイヌノフグリ(大犬の陰のう)」を別名「星の瞳」に改名できたらよいと願いつつ。